

厚労科研 大西班『放射線治療の提供体制構築に資する研究』（2023年度）

【研究テーマ】

患者側の視点による、あるべき放射線治療提供体制の構築

【研究分担者】

小宮山貴史(山梨大学)

【研究協力者】

若尾直子(NPO法人がんフォーラム山梨)

1

【研究課題】

「あるべき放射線治療の提供体制」に関する患者と医療者の意識調査

【研究目的】

患者の視点で考える「あるべき放射線治療提供体制」と、治療を担っている医療者が考えている「あるべき放射線治療提供体制」に、乖離の有無を明らかにし、乖離があればその乖離点について検討する。

【研究デザイン】

web及び紙媒体による無記名アンケートを全国で展開し、意見を集約。
アンケート結果の解析を行い、今後の放射線治療の提供体制に向けての提言を作成する

2

【対象と方法】

患者：研究者らが所属するがん患者会等のネットワークなどから全国のがん患者会等に対して会員にアンケートへの参加を依頼する。加えて、研究者らが実施するがん啓発イベント等に参加したがんサバイバー等にアンケートへの参加を依頼する。また、研究者らが所属する施設に通院する患者にアンケート調査を依頼する。

医療者：日本放射線腫瘍学会の正会員、準会員にアンケート調査を依頼する。

3

【アンケート内容 一部】

- ・放射線治療に関わる医療者や機器はどのように配置されるのが望ましいと考えますか。
- ・放射線をより集中させることのできる陽子線・重粒子線治療施設は保険適用にならない疾患もありますが、どの程度必要なのか。
- ・放射線治療の説明はどなたからうけたいですか。
- ・治療方法を決めるときに最優先する項目は何ですか
- ・通院に2時間程度かかる放射線治療施設で、平日に2か月程度毎日治療を受けるとしたら、どのようにして治療することが推奨されますか。
- ・放射線治療に関する情報は、患者に充分行き届いているか。

4

【研究の進捗状況】

2023年11月末 アンケート内容確定(済)
2024年3月 倫理審査提出(済)

【今後の予定】

2024年4月前半 倫理委員会承認
倫理委員会承認～2024.5.31 アンケート調査
2024.6月上旬まで アンケート集計、結果検討
2024.6月半ば JASTRO演題登録(募集期間延長があれば・・・)

5

【前回研究成果について】

- ・「がん」などに罹患した際に提供された放射線治療に対する現状調査
- ・調査にご協力いただいた患者さんへの結果の提供の意味でJASTROホームページの「一般の方」のところにスライド形式で結果を公表予定(2024.4月を目標)
- ・論文化準備中

6